

## 第14回 佐倉市地域公共交通会議 議事録(要録)

日 時	平成27年8月6日(木) 午前10時から
場 所	議会棟 1階 全員協議会室
出席者	<p>○出席委員  浦田会長、古島副会長、竹内委員、小林委員、池澤委員、藤崎委員、白土委員、花崎委員、森委員、富田委員、井坂委員、阿部委員、石倉委員、出山委員、勝股委員(代理)、戸川委員(代理)、以上16名</p> <p>○事務局職員  内田都市計画課長、櫻井主査、伊藤主任主事、藤本主事</p> <p>○傍聴人  0名</p>
配布資料	会議次第、会議資料、策定スケジュール、委員名簿
主な議題	<p>協議事項  (1)南部地域デマンド交通の運行継続について</p> <p>報告事項  (1)地域公共交通網形成計画の策定について  (2)佐倉市循環バスの実績報告</p>
内 容	
事務局	配布資料の確認
<b>開 会</b>	
事務局	<p>会議の開催宣言</p> <p>新規委員の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本大学工学部交通システム工学科 轟 朝幸 委員</li> <li>・ 千葉運輸支局首席運輸企画専門官 竹内 淳 委員</li> <li>・ 印旛土木事務所長 勝股 稔 委員</li> <li>・ 都市部長 石倉 孝利 委員</li> </ul> <p>交代委員の紹介</p>

・志津北部地区市民委員 上岡 委員 → 横山 幹雄 委員

・佐倉市福祉部長 飯島 委員 → 井坂 幸彦 委員

#### 会長挨拶

会長 議事

南部地域デマンド交通の運行継続について

事務局 —議事について、事務局より資料に沿って説明—

(質疑応答)

委員 デマンド交通の運行見直しを行うとのことだが、具体的内容は決まっているのか。

事務局 現段階では具体的内容は決まっていなが、現在策定中の公共交通網形成計画で市内の交通ネットワークの再構築を検討しており、南部地域も計画の対象となっている。

この計画の中で、デマンド交通を存続するか、他の交通手段に転換していくのか等定めていくことになり、その内容によっては運行を見直すこととなる。

会長 他に質問がないようであれば、事務局提案のとおり、南部地域デマンド交通を継続するという  
とでよろしいか。

(異議なし) 承認

会長 報告事項

地域公共交通網形成計画の策定について

事務局 —報告事項について事務局より、資料に沿って説明—

(質疑応答)

委員 住民ヒアリングについて、具体的な方法やスケジュールが決まっていれば教えてほしい。

事務局 地区連合協議会等で地域自治会等の会合に職員が出席してヒアリングを実施する。

現在決まっているスケジュールでは、8月中に佐倉西部地区、和田地区で、9月に弥富地区で

ヒアリングを実施することが決まっている。

委員 交通事業者へのヒアリングでは具体的にどのようなことをするのか。

事務局 時期は9月下旬ごろに行う予定であり、詳細が定まった段階で関係者には出席依頼をするのでご協力をお願いしたい。

委員 資料10ページの絵について、幹線とフィーダーの役割を切り分けるという意味かと理解できるが、駅周辺の緑色の循環型の矢印は佐倉市においてどのような施策をイメージしているのか

事務局 10ページの絵については、あくまでもイメージということでこれらの絵を具体化していく各施策はこれから検討していくこととなる

ご質問の緑色の循環型の矢印については利便施設を結ぶ交通手段の確保として今後の計画の中の一つのメニュー出しとして書かせてもらっているが、具体的な事項はこれから検討していくこととなる。

委員 地区連合協議会で住民ヒアリングを予定しているとのことだが、公共交通機関の利用が想定される高齢者は自治会とのつながりの無い方が相当数いる。その為、地区連合協議会に加えて、広報で市内の交通状況の意見を公募できないか。

事務局 昨年無作為抽出でアンケートを行っており、全体的な意見の聴取はできているものと認識しているが、より細かなヒアリング方法については、ご提示の手法を含め今後検討させていただく。

(計画の策定に関する質疑終了)

会長 報告事項

佐倉市循環バスの昨年度実績報告について

事務局 —報告事項について事務局より、資料に沿って説明—

(質疑なし)

閉会